

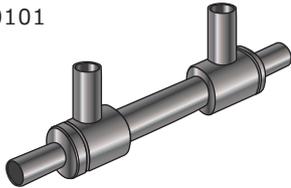
小型高効率熱交換器

RGL JOINT 株式会社 リガルジョイント

〒252-0331
 神奈川県相模原市南区大野台1-9-49
 TEL 042-756-7411(営業ダイヤルイン)
 FAX 042-752-2004
 URL <https://www.rgl.co.jp>

取扱説明書

HR0101



●本書の最新版は
 当社ホームページ(<https://www.rgl.co.jp/>)で取得できます。

概要

HR0101は、高効率多葉状二重管式伝熱管“SCFチューブ”を採用した二重管式熱交換器です。伝熱管の内部にフィン挿入し、流体同士を混合することなく冷却出来ます。気体×液体において性能を発揮し、高温ガスの急速冷却に効果的です。

ご使用前に

- 本製品を使用する前に、必ず取扱説明書を読んで内容を理解してください。
- 取扱説明書で指定した使用方法、使用条件、注意事項を必ず守ってください。

安全上のご注意

この取扱説明書で使用している表示と意味は次の通りです。

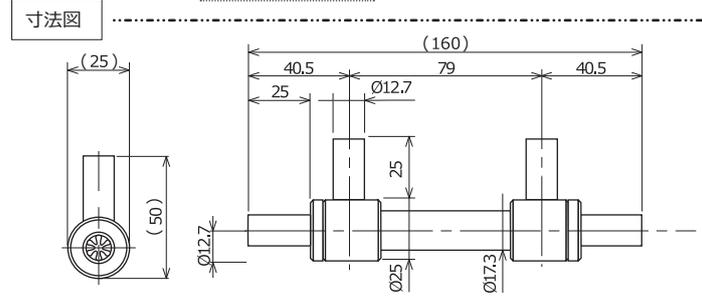
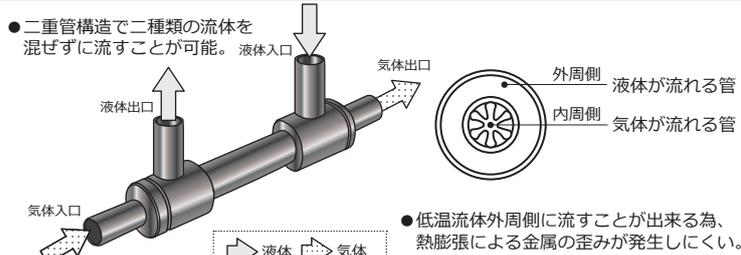
| | | |
|-----------|---|------------------|
| 注意 | 誤った取扱いをしたときに、障害または家屋・家財などの損害になる恐れのあるもの。 | 絶対に行なわないでください。 |
| | | 必ず指示に従い、行ってください。 |

仕様

| | |
|-----------------|------------------|
| 型式 | HR0101 |
| サイズ(mm) | W160×D25×H50 |
| 材質 | SUS304/SUS304L*1 |
| 伝熱管種類 | SCF6012 |
| 伝熱管長さ(mm) | 100 |
| 接続口径(mm) | Ø12.7 |
| 流体 | 気体 / 液体 *2 |
| 最高使用圧力(MPa) | 1.0 |
| 使用温度(°C) | ~300 *3 *4 |
| 流量範囲-気体(NL/min) | ~50 |
| 流量範囲-液体(L/min) | ~3 |

*1 SCFチューブにSUS304L、左記以外の箇所はSUS304を使用 *2 流体の使用可能例 空気、水、ガス など
 *3 上記以上の温度に関しては、お問合せ下さい。 *4 凍結なきこと。

外形・寸法



配管方法

- 配管にはチューブ継手を推奨いたします。
- 熱交換器の内部に流体中の汚れが付着することにより、性能が低下する可能性があります。そのため、上流側にフィルターの設置を推奨いたします。

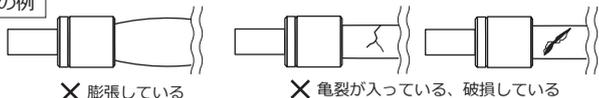
- (1)チューブの表面にゴミ等の付着が無いことを確認してください。
- (2)チューブ継手を接続し、継手メーカー指定の方法で施工してください。

凝縮が伴う場合は凝縮液体を排出するため、気体を上方から下方に流すようにしてください。凝縮液体の排出が行われない場合、熱交換性能が低下します。

注意

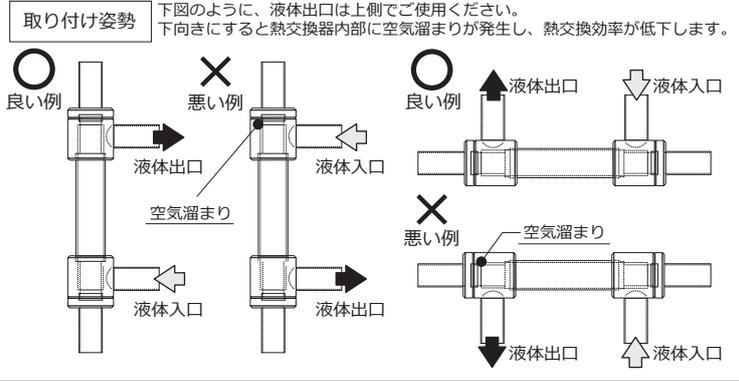
- 当製品は分解できません。
- 落下等の強い衝撃を加えないでください。
- 熱交換器本体に著しい変形等があった場合はご使用を中止してください。

変形の例



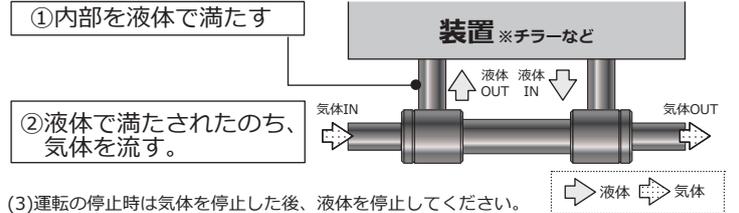
- 配管後は流体の漏れがないことを確認の上でご使用ください。
 - 流体の漏れを防ぐため、チューブ表面に傷・変形・異物付着が無いことを確認の上配管を接続してください。
- 紙面右上に続きます。

●内部にスケール(異物)がつくと性能が落ちる可能性があります。洗浄を行う場合は、内周側にのみ圧縮空気・高圧水等(1MPa以下)をご使用ください。



運転方法

- (1)熱効力の発生を抑制するため、最初に液体を流し熱交換器内部を満たしてください。
- (2)液体で満たした状態で気体を流してください。

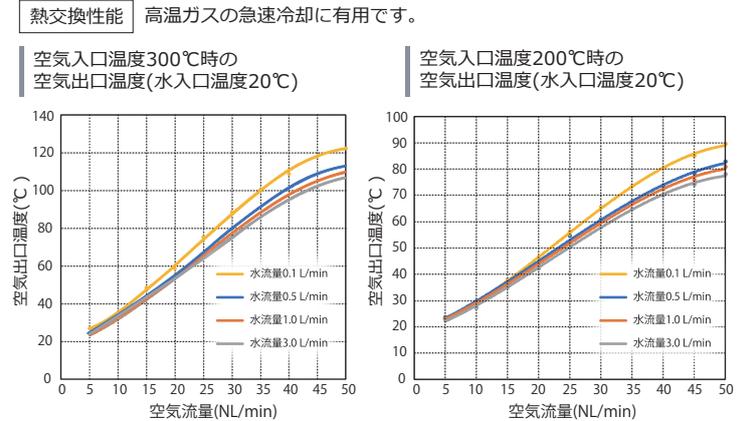


- 腐食性流体を流さないでください。
- 最高使用圧力を超える圧力を加えないでください。
- 最高使用温度を超える温度の流体を流さないでください。

●温度勾配を大きくするため対向流で使用することを前提としておりますが、並行流でのご利用も可能です。

性能のグラフ

※以下の結果は自社評価試験によるデータであり、性能を保証するものではありません。



保証及び免責事項

- 弊製品の誤った使用、不適切な使用により発生した事故に関しましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 弊製品についての保証期間は、製品納入から1年間となります。
- 保証期間内での性能及び材質の不具合に対して、弊社による原因であると弊社が文書で承認した場合、代替品を提供させていただきます。
- 尚、此処での保証範囲は弊社製品単体に限定されます。製品の故障により直接あるいは間接的に起こる損失、損害、怪我、その他を含めた損害に関しては保証の対象範囲から除外します。
- 要求により先行で代替品を提供、その後の不具合の原因調査により、弊社責でないことが判明した場合、代替品は有償となります。(代替品は同製品となります。)
- ※弊社書外となる不具合要因例について以下に記します。
 - ・取扱説明書(最新版)に記載している内容以外での使用。
 - ・使用上の不注意。
 - ・製品の分解、改造。